

協働パイロット事業 (H25) 企画提案書

団体名：NPO 法人 place of peace

1. 事業の名称

「パパもママも子どももみ～んなまるごと応援プログラム」

ママは・・・Nobody's Perfect (完璧な親なんていない) プログラム

パパと子どもは・・・「きのいい羊達」と親子あそびで体力づくり

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

現在の子育て環境をめぐる問題として、核家族化、地域とのつながりを持たないまま、母親が孤独で不安な子育てをしている。子育てについて話ができる相手がいないという「孤育て」中の母親が増えており、結果、育児書やネット頼りの子育ては「ウチの子と書いてあることが違う」「発達に遅れがあるのかしら」といった少しの違いにも不安が一層かきたてられる。多くの親が、自分の子どもを産むまでに子どもとの接触経験が全くないまま母親になる人が増えていることも原因の一つである。本当は「子どもと一緒にいると楽しい」「子どもはかわいい」とほとんどの母親は思っているのに一方で「子育ての負担感」や「イライラ、不安感」を抱えている。この育児ストレスが虐待へつながるケースも見られる。母親からの、父親が子どもと遊んでくれないという不満もあるが、父親自身が子育てに関心が薄かったり、また関心があっても子どもとの接し方がわからないという声も多く聞かれる。

そこで母親には、一人でがんばるのではなく周囲の助けを得ながら子育てをすることを奨励するカナダ生まれの「Nobody's Perfect (完璧な親なんていない)」(以降 NP プログラムと略す) という親教育支援プログラムを受けてもらう。と同時に母親が講座を受けている間、父親には子どもと一緒に「きのいい羊達」の講師に親子あそびを学びながら楽しくあそんでもらう。

「通信機器の著しい発達」により、家の中で友達と会う必要もなく手軽に遊べる時代になり、子どもたちの遊び場の環境も変わってきている。しかし、今も昔も子どもたちは身体を元気に動かして遊ぶことは大好きである。ちょっと工夫すれば、いくらでも身体を使った遊びを発見できる。基礎体力がつけば「やればできる」という楽しさを知り、次から次へと挑戦していく意欲が湧いてくる。そして仲間と接する中で相手を思いやる心が育まれる。運動能力と心の発達につながるあそびを学びながら、親子、または子ども同士が遊びを通してふれあう場を提供することにより多くのコミュニケーションがとれることが期待できる。

これを行うための安全な場の確保として公共施設を利用し、より多くの親子にこのプログラムを利用してもらい、子育て支援に役立てたいので、公な行政と取り組むのが有意義と考えた。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

当団体は、

- ・ファシリテーター（進行役）としてNPプログラムを運営、進行する。ファシリテーターは、従来の指導型の講師ではなく、みんなが安心して本音で語れるような場づくりをする。
 - ※ファシリテーターの役割 別紙①
 - ※NPプログラムの詳細 別紙②③
- ・きのいい羊達（父親と子どもの親子あそびで体力づくりのプログラムを実施）の協力要請

市は、

- ・会場として市の公共施設（アイセルなどの生涯学習センターや保健センターなど）の確保
条件 母親の講座の部屋は20人程度の集会室を1部屋
父親と子どもの講座の部屋は運動ができる30人以上の部屋を1部屋
同じ施設内で6週連続（日曜日の午前中）
- ・募集 市で募集してもらうことにより、この事業を多くの市民に知ってもらう。
広報紙、ちゃむ、チラシ配置（図書館、支援センター、保健センターなど）

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

・NPプログラム

親の孤立感が軽減し、自信が増大し、子育てのスキルが強化される。

1. 子どもの健康や安全しつけなどについて学ぶ（テキストも使用）
2. すでに持っている子育てのスキルを高め、新たなスキルを習得し練習する（他の人々とともに学び話し合うことによってスキルの幅を広げる）
3. 自分の長所や能力に気づくことによって親としての自信をつける（自分だけがダメな親だと思っていた人が他の人も同じ悩みを持っていたことを知って自信を回復することも多い）
4. 学習しながら他の親と知り合ったり楽しんだりする（従来の講座のようにただ黙って話を聞くのではなく互いに話し合ったりさまざまに工夫された体験学習を通して楽しく学ぶ）
5. 他の親と助け合いサポートし合える関係をつくる（講座中だけでなく講座終了後も互いに助け合うグループとして継続していくよう仲間づくりの第一歩をこのプログラムが支援）

実際に行われた効果判定でも、自己評価が上がり、育児不安感が下がり、抑うつ感が下がるという点で、有意な結果が出ている。

去年静岡市で行われた NP プログラムを受けた人のアンケート 別紙④

・親子あそび

父親は親子で楽しくできるあそびを学ぶことによって、子育ての関わりが増大し、子育ての楽しさを感じる。

子どもも父親に遊んでもらうことで、充実感、満足感を得られる。身体を元気に動かして遊ぶ楽しさを感じることができる。

運動能力と心の発達に“つながるあそび”・・・子どもの体力や運動能力の向上につながる。学習意欲、がんばる心、社会性の向上につながる。親子の絆を深め、子どもの情緒安定につながる。鉄棒、跳び箱、なわ跳びなどの運動につながる。このようなあそびは、親子のふれあいで基礎体力作りとして効果があるだけでなく、家族の心を豊かにする。

5. 事業計画

- 対象 2歳～5歳のお子様をお持ちの家庭（兄弟も参加可）
6回の連続講座を全日程参加できる方
12～16家庭
- 講師 NPプログラムは、NPJファシリテーター2名（当団体）
親子あそびは、きのいい羊達1名
- 回数 同時6回（週に一回6週連続）
- 時間 一回2時間（日曜日の午前中）

どちらの講座もテキスト使用

- ・NPプログラムは講座開催中は無料貸し出し、終了時に欲しい人は新たに購入することができる
- ・親子あそびは無料配布

母親は集会室にてNPプログラムを受講

父親と子どもは同じ施設内の運動ができる部屋にて親子あそびで体力づくりを受講

・NPプログラム

参加者がそれぞれに抱えている悩みや関心あることをグループで出し合って、話し合いながら必要に応じてテキストを使い、自分たちにあった子育ての仕方を学ぶ。

資格を持ったファシリテーターが、プログラムを準備、企画、実施し、参加者が安心して話し合いと交流ができるようお手伝いをする。

おやつ付きでティータイムがあり、参加者がほっとできる場を提供する。

・親子あそびで体力づくり

講師が、テキストの中のものを含め、基本的に2歳～5歳の年齢にあった内容の親子あそびを紹介しながら実際に親子で遊ぶ。

遊んでいる間、または遊んだ後、休憩中に講師が解説をする。

2歳～5歳に該当しない兄弟にも対応。

6. スケジュール

7月上旬	会場手配、会場下見
7月下旬	市との広報紙の打ち合わせ（9月1日号掲載希望）
8月	チラシ作成、印刷
8月下旬～10月上旬	参加者募集（チラシ配布） 講座使用物品の準備
10月上旬	参加者選考 きのいい羊達との打ち合わせ
10月中旬	参加者通知・連絡 講座使用物品の確認 初回講座内容の準備
10月27日	初回 終了後、次回プログラムの打ち合わせ、きのいい羊達との打ち合わせ
11月 3日	第2回 "
11月10日	第3回 "
11月17日	第4回 "
11月24日	第5回 "
12月 1日	最終回 終了後、反省、まとめ
12月中旬	報告書の作成

※なお、会場が上の日程でどうしても取れない場合は1月19日～2月23日の毎日曜日（午前）でも可

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

責任者 NPO 法人 place of peace 理事長 水野美文

NP プログラム

NPJ ファシリテーター 池上美和子 2013 年 4 月 1 日 Nobody's Perfect Japan 認定ファシリテーター取得

臨床発達心理士

コモンセンスペアレンティング（幼児編）指導者

保育士

現在、静岡市・富士市の保健センター非常勤心理相談員

〃

磯谷左知子 2013 年 4 月 1 日 Nobody's Perfect Japan 認定ファシリテーター取得

現在、静岡市養育支援訪問員

きのいい羊達 講師 磯谷仁 経歴 別紙⑤

※他のスタッフ（きのいい羊達）が講師になることもある。

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

従来の講座は、母親だけが学ぶものが多かったが、父親も同時に学ぶことができ、子どもも楽しく過ごすことができる。家族全体の子育て力がアップする。

このように2講座の同時進行は初の試みである。

NPプログラムは、従来託児付きで行われるが、託児者ではなく、父親に預けることによって、母親がより安心して講座に参加できる。

父親も子どもを預かるだけでなく、子どもと一緒に親子あそびを学ぶことにより、絆も深まり、スキルを身につけることができる。

家族全員が、同じ時間、同じ施設内にて、共に充実感、満足感を得られる。

何よりもいいことは、どちらの講座も6回で終了するが、それだけで終わる内容ではなく、どちらもその後の育児におおいに役立ち、大きな助けになる内容となっている。

NPプログラムの特徴

大きく3つの特徴がある。

1. 参加者中心のプログラムであること

従来の子育て講座は、小児科医や保健師、あるいは臨床心理士、保育士といったいわゆる「専門家」が、子育てが未熟な親にそのやり方を教えるという指導型がほとんどであったが、NPプログラムは参加者中心となってプログラムの内容を決め、自分たちが決めた内容について話し合っ解決策を探していくという方法をとっている。

学ぶ内容について自分の意見が反映され、プログラムが参加者の期待や必要に応じて組み立てられることによって、参加者の学習意欲は明らかに高くなる。そして、参加者全員がサポートされる側であると同時にサポートする側でもあるというグループとしての一体感を生み、参加者全員の体験が互いの体験となり、学びの対象となる。

2. 価値観を尊重すること

私たちは一人ひとり、育った環境も人生経験も違い、それによって培われた価値観も違う。そして自分の価値観を基準に物事を考え、行動する。けれども多くの方は、自分の一部になっている価値観を意識することはない。自分とは違った考え方や行動をとる人に対して反対の意見を持ったときに初めて、自分の価値観に気づくことができる。

どんなグループにもさまざまな価値観をもった人が集まる。それを否定したり一つの価値観に変えさせたりすることが、プログラムの目的ではない。まずは「自分が当たり前だと思っていたことが当たり前ではない人がある」ことに気づくこと、それをただ否定するのではなく、「なぜ相手はそう考えるのか」を知ろうとすることが大切だと考える。

自分が無意識に持っていた価値観に気づいたうえで他人の価値観も尊重すること。そうやって視野が広がることで、自分が縛られていた子育ての呪縛から逃れることができたり、人からの押しつけではなく、自分で自分の子育ての方法を見直したりできることが、本質的な親の「子育て力」をつけると考える。

3. 体験を通して学ぶこと

子育ては、毎日が新しい体験の連続である。ある問題が起きたときに、どのような対応をしたらよいかを考え、失敗したり成功したり試行錯誤の連続である。そのなかで、「この問題にはこう対応

すべき」という一つの答えを与えるアドバイスは、その問題に対しては役立つが、毎日次々に起こることすべてに対してアドバイスができるわけではないし、それでは親の学びにはつながらない。大切なのは、体験で得た学びを別の場面でも応用できる力をつけることである。そのためには、自分の体験を認識し吟味する思考のサイクルを身につけることが必要である。それをNPプログラムでは「体験学習サイクル」と呼び、プログラムのなかで循環的な学びのプロセスが獲得できるように手助けをする。 図表1・・・別紙⑥

協働パイロット事業 (H25) 見積書

団体名: NPO 法人 place of peace

企画のタイトル: 「パパもママも子どももみ～んなまるごと応援プログラム」
 ママは・・・Nobody's Perfect(完璧な親なんていない)プログラム
 パパと子どもは・・・「きのいい羊達」と親子あそびで体力づくり

項目	金額	説明
会場費	、 16,200	親子あそびの部屋 1,500円×6日 NP 講座の部屋 1,200円×6日
ファシリテーター謝金	、 96,000	1名1回8,000円×6日×2名
きのいい羊達講師謝金	、 72,000	1名1回12,000円×6日
テキスト代	、 8,000	親子あそびテキスト 500円×16名
保険代	、 8,700	あいおい損保イベントレクリエーション 保険加入 29円×50人×6日
雑費	、 38,000	チラシ代、印刷代、通信費、文房具用品、 テキスト送料、ティタイム用おやつ、ド リンク代など
小計 A	238,900	
消費税 B = A × 0.05	、 11,945	
合計 A + B	、 250,845	

◎実費弁償契約の希望の有無

①

無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
団体自己負担	、 845	

企画提案の概要書

提案団体名	NPO 法人 place of peace
企画案のタイトル	「パパもママも子どももみ～んなまるごと応援プログラム」 ママは・・・Nobody's Perfect (完璧な親なんていない) プログラム パパと子どもは・・・「きのいい羊達」と親子あそびで体力づくり
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>現在の子育て環境をめぐる問題として、核家族化、地域とのつながりを持たず、母親が孤立で不安な子育てをしている。父親も子育てに関心が薄かったり、関心があっても子どもとの接し方がわからないという声を聞く。</p> <p>従来の講座は母親だけが学ぶものが多かったが、この企画は母親が講座を受けている間、同じ施設内の別室で、父親が子どもと一緒に親子でのあそび方を学びながら楽しむものである。このように2つの講座の同時進行は、初の試みである。どちらの講座も、その後の育児においておおいに役立ち、大きな助けになっていく。</p> <p>母親が受ける NP プログラムは、親の孤立感が軽減し、自信が増大し、子育てのスキルが強化されるという成果を生み出している。父親と子どもの親子あそびは「きのいい羊達」のスッパマン先生による講座で、運動能力と心の発達につながるあそびを学ぶ。あそび方を知ることによって子育ての楽しさを感じ、家族の心が豊かになるすばらしい講座である。</p>
金額	25万円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。